

道内、道内一本州間の
輸送力確保・再構築に向けた

緊急提言書

令和4年7月

北海道商工会議所連合会

会頭 岩田圭剛

道内、道内－本州間の輸送力確保・再構築に向けた緊急提言

日本の国土の22%を占める北海道において、物流機能は、道内経済や道民の暮らしを支えるに留まらず、日本全体の経済や暮らしに深く関わり、特に農産品などの食料関連品の移出に関しては、食料基地北海道からの供給を支え、全国へ連なるサプライチェーンや食料安全保障の面でも大きな役割を果たしております。

これらの移出に加え、道内の産業や北海道で暮らす我々が必要とする物資の移入は、自動車（トラック・トレーラー）、鉄道、船舶（フェリー・RORO船）など様々な輸送モードの連携によって支えられており、これらの物流体系は、商習慣、荷物の種類、発送側・受取側のニーズに応じ変化を重ね「より適した形」に築き上げられたものであります。

長い年月を経て構築されたこの物流体系は、環境の変化等に伴い様々な視点からの課題に直面し、特に、北海道新幹線の札幌延伸に伴う「函館－小樽」間の並行在来線問題や青函トンネルにおける新幹線と貨物列車の共用走行問題、トラック運転手不足問題の他、カーボンニュートラル実現に向けた「貨物鉄道輸送へのモーダルシフトの促進」、「船舶の排出規制への対応」などが挙げられます。さらに、激甚化・頻発化する豪雨・豪雪災害や将来の地震・火山噴火への備えも不可欠であり、いずれも目前に迫る危機として、早急な対応が求められております。

北海道特有の課題もある中、現状の物流体系が維持されるのか、あるいは状況に応じ再構築されるのか、北海道経済に深刻な影響が及ぶ可能性も否定できないことから、私どもとしても、本年2月から、各輸送モード・経路の強靱化、連携によるレジリエントな物流体系の構築等の検討を開始いたしました。

この国を支える重要なインフラの一つである物流につきまして、北海道新幹線の高速化と貨物輸送力確保の両立や、各輸送モードのベストミックスを目指すとともに、カーボンニュートラルの実現や北海道はもとより日本経済全体の発展に資するものとなることを切に願い、今後の物流体系を構築する上での方向性や視点につきまして、ここに提言いたします。

記

1. 北海道の産業と暮らしを支えている輸送力の破綻回避

- ①並行在来線「函館－長万部」間の（鉄路の）維持・存続
- ②深刻さを増すドライバー不足問題に加え、2024年問題等に対応する物流インフラの整備促進

2. 北海道新幹線の本来あるべき経済効果を最大化し、「島国・北海道と本州の人とモノの流れ」を将来に亘り繋ぎ続ける第2青函トンネルの早期調査実施

3. カーボンニュートラル達成に向けた貨物鉄道輸送へのモーダルシフトのさらなる推進

以上

令和4年7月

北海道商工会議所連合会
会頭 岩田圭剛

以上、全道 42 商工会議所の総意として提言申し上げます。

令和 4 年 7 月

札幌商工会議所	会頭	岩田圭剛	小樽商工会議所	会頭	山本秀明
函館商工会議所	会頭	久保俊幸	旭川商工会議所	会頭	新谷龍一郎
室蘭商工会議所	会頭	栗林和徳	釧路商工会議所	会頭	栗林定正
帯広商工会議所	会頭	川田章博	北見商工会議所	会頭	舩川誠
岩見沢商工会議所	会頭	松浦淳一	留萌商工会議所	会頭	塚本壽三郎
網走商工会議所	会頭	北村譲二	苫小牧商工会議所	会頭	宮本知治
根室商工会議所	会頭	山本連治郎	稚内商工会議所	会頭	中田伸也
滝川商工会議所	会頭	明円直志	深川商工会議所	会頭	富岡正幸
栗山商工会議所	会頭	松原正和	紋別商工会議所	会頭	片岡一道
名寄商工会議所	会頭	藤田健慈	伊達商工会議所	会頭	菅俊治
砂川商工会議所	会頭	其田勝則	遠軽商工会議所	会頭	渡邊博行
森商工会議所	会頭	伊藤新吉	富良野商工会議所	会頭	荒木毅
士別商工会議所	会頭	鈴木勉	美唄商工会議所	会頭	古谷野環
江別商工会議所	会頭	町村均	余市商工会議所	会頭	中山尚志
岩内商工会議所	会頭代行	清水智	倶知安商工会議所	会頭	阿部和則
芦別商工会議所	会頭	坂田憲正	上砂川商工会議所	会頭	岩淵健悦
浦河商工会議所	会頭	上田正則	夕張商工会議所	会頭	中島功治
美幌商工会議所	会頭	後藤哲也	歌志内商工会議所	会頭	斉藤靖
赤平商工会議所	会頭	西出勝利	留辺蘂商工会議所	会頭	横山勝人
千歳商工会議所	会頭	入口博美	登別商工会議所	会頭	木村義恭
恵庭商工会議所	会頭	中泉澄男	石狩商工会議所	会頭	榎本哲史